

令和7年度 （公社）ふくい農林水産支援センター職員募集案内

公益社団法人ふくい農林水産支援センターでは、職員を次のとおり募集します。

1 採用予定人員

- (1) 職種 一般事務
- (2) 採用予定人数 1名（正職員）
- (3) 採用予定日 令和8年4月1日

2 職務内容

- (1) 総務・経理業務および公益法人会計（予算・決算）に関する業務
- (2) 各種事業に関する経理業務
- (3) センターの運営全般に関する業務

3 応募資格

次のすべての要件を満たす方を対象とします。

- (1) 地方公務員法第16条に規定する欠格条項に該当しない方
- (2) 団体または企業等において、総務・経理業務の経験があり、会計ソフトを用いた歳入・歳出の処理および決算書の作成ができる方
- (3) パソコン操作が可能な方（Word、Excel、PowerPoint 等）
- (4) 普通自動車運転免許を保有している方

4 勤務条件等

- (1) 勤務地 福井市松本3丁目16-10 福井県福井合同庁舎4階
公益社団法人ふくい農林水産支援センター 経営管理課
- (2) 給与 令和7年4月現在の初任給は次のとおりです。
月額225,600円（大学新卒者の場合）
なお、職歴などがある人については、上記初任給に一定の基準で算出された額が加算される場合があります。
また、扶養手当、住居手当、通勤手当、期末・勤勉手当等が規定に基づき支給されます。
- (3) 勤務時間 午前8時30分から午後5時15分まで（休憩時間60分）
- (4) 休日 土曜、日曜、祝祭日、年末年始（12/29～1/3）
- (5) 休暇 年次有給休暇、特別休暇の制度があります。
- (6) 試用期間 採用から6か月間は試用期間となります。
- (7) その他 健康保険、厚生年金保険、労災および雇用保険に加入します。

5 選考方法

(1) 第1次選考（書類選考）

小論文	別紙「小論文課題について」のとおり、2つの課題を選択して、それぞれ800字以内で記述してください。
-----	---

(2) 第2次選考（面接試験）

面接試験	職務遂行能力、人物等について、個別面接を行います。
------	---------------------------

6 試験の日時および場所

区 分	試 験 日 時	場 所
第1次選考	—	小論文による書類選考
第2次選考	令和8年1月下旬実施 (詳細は、第1次選考合格者に通知します。)	

7 応募手続および受付期間

提出書類	次の書類を下記申込先へ持参または郵送で提出してください。 【提出書類】 (1) 職員採用試験申込書（所定の様式を使用） 1通 (2) 小論文 ((1)、(2)の様式は、下記申込先で配布します。また、当センターホームページ (http://www.fukui-affsc.jp/) からダウンロードできます。) (3) 写真1枚（上半身、脱帽正面向き、縦4cm×横3cmで申込み前6か月以内に撮影したもの）を(1)の書類に貼付してください。 (4) 大学卒業証明書もしくは卒業見込証明書 1通
受付期間	令和7年11月14日（金）から令和7年12月22日（月）まで 受付時間は、午前9時から午後5時まで 郵送の場合は、封筒の表に「採用試験申込」と朱書きのうえ、簡易書留郵便にしてください。（12月22日必着）

申込先および 問い合わせ先	公益社団法人ふくい農林水産支援センター 経営管理課 〒910-0003 福井市松本3丁目16-10 福井県福井合同庁舎 4階 電話 0776-21-8309
------------------	---

8 合格者の発表

区 分	発表日	発表の方法
書類選考	—	申込者全員に郵便で通知
面接試験	令和8年1月下旬 (面接試験日に日時をお知らせします。)	面接試験受験者全員に 郵便で通知

※提出いただいた個人情報は、当センターにて厳重に管理し、採用試験以外の用途には使用しません。また、応募書類は返却しませんのでご了承ください。

（別紙）小論文の課題について

次の5つの課題から2つを選び、それぞれ800字以内で記述してください。

課題1 および課題2の中から1つ、課題3から課題5の中から1つを選択し、具体的な事例やご自身の意見を交えながら論じてください。

課題1：フードロス削減と農業の連携による地域循環型社会の実現

我が国では毎年多くの食料が廃棄されており、フードロスの削減は喫緊の社会課題となっています。一方で、地域農業との連携を通じて、食品ロスを資源として有効活用する取り組みも始まりつつあります。

フードロス削減と地域農業との連携の可能性および地域循環型社会の構築に向けた方策について、あなたの考えを述べてください。

課題2：スマート農業の普及に向けた課題と展望

AI やロボット技術、ドローン、センシング技術の活用により、「スマート農業」が注目を集めていますが、その一方で、導入コストや担い手の技能不足といった課題も顕在化しています。

スマート農業の普及に向けて考えられる課題を整理し、技術導入と地域農業との共存をどのように図るべきか、あなたの意見を述べてください。

課題3：公共団体・職員に求められる「共感力」と「説明責任」

行政機関や公的団体の役割が多様化・複雑化する中で、住民や関係者との信頼関係を築くうえで重要となるのが、「共感力」と「説明責任」です。

「共感力」とは、住民や関係者の立場・感情・価値観を理解し、寄り添う姿勢を持つ力を指し、「説明責任」とは、行政活動の目的・内容・成果を、分かりやすく、正確かつ誠実に伝える責任を意味します。

地域社会や関係者との信頼関係を構築するために、職員としてどのような姿勢や行動が必要だと考えるか、あなたの考えを述べてください。

課題4：地域の持続可能性を支える「関係人口」の活用

「関係人口」とは、定住はしていないものの、地域と継続的に関わる人々を指します。観光客、副業人材、リモートワーカーなど、地域と多様な関わりを持つ人々をどのように受け入れ、地域づくりに活かしていくかが、今後の地域活性化の重要な鍵となります。

関係人口を活用した地域づくりの可能性と課題について、あなたの意見を述べてください。

課題5：働き方改革とワークライフバランスのこれから

多様な働き方が求められる現代において、組織として柔軟性と生産性を確保しつつ、職員一人ひとりが働きやすい環境を整えることが求められています。

働き方改革の意義を踏まえつつ、これからの職場におけるワークライフバランスの在り方について、あなたの考えを述べてください。